

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		クリエイター創業者育成事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展				
総合計画体系	政策	6	産業の健幸	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺 良輔	
	施策	25	企業誘致の促進と働く場の確保	所属課	生涯学習課	担当者名	古閑 尚也	
	業務分野	74	雇用環境の充実支援と就業機会の確保	所属班	生涯学習班	(内線)	1502	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 25	事業連番	11659	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	当市の産業構成をみると、付加価値ベースで約7割を景気の変動に大きく影響するリスクを抱えている製造業に依存している。また、当市の面積の約9割が都市計画法等による開発が規制されており、今後の大規模な企業誘致を実現することは困難である。併せて、本市では人口が増加している中、平成21年度から平成26年度までの5年間で314人転出するなど、若者のみが増加超過している。従って、地域で生まれ育った若者が自分の希望や夢につながる仕事を地域で創出することが必要と考えられる。 この状況を踏まえ、我が国の成長産業とされ海外から高く評価されている「コンテンツ産業」に着目し、本市の地理的優位性(交通アクセスの充実、コンテンツ産業で高い成長産業を遂げている東アジアへの近接等)、社会的優位性(住みよいまちとしての高評価等)を活かし、若者の創業、就労支援を行い、先にはコンテンツ産業の誘致に努めるもの。 クリエイター育成塾(年12回程度)の実施、WEBサイト活用による「しごと」づくりの実施
【業務の流れ】	●SWOT分析を行う(S=強み、W=弱み、O=機会、T=脅威) ●委託契約事務→育成塾実施に伴う関係機関(コンテンツ企業、地域金融機関、市商工会、特許庁、大学、高専等)との調整→育成塾生募集→育成塾生選定→育成塾(8月から12月)→成果、課題検討会→次年度計画策定→請負者への支払い ●WEBサイト開設・運営に伴う関係機関協議→WEBサイト構築→WEBサイト運営→成果分析→課題検討→次年度計画策定
【主な予算費目】	報酬(地域おこし協力隊員分)、期末手当(地域おこし協力隊員分)、旅費(地域おこし協力隊員通勤費)、時間外勤務手当、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】地元の魅力を発信できる市民クリエイターの育成

【内容】8月から12月の間に、9日間計12コマで映像撮影や編集方法、SNSの活用方法について、映像制作会社「ロボット」に運営を委託している。また、課題として、地元の魅力をテーマに映像制作をチームで取り組んでもらっている。合志市の参加者には市内の飲食店や特産物などをテーマに取り組んでもらっている。

【実績】令和6年度で10日目となり、令和3年度から実施している他市町との共同開催で、新たに熊本県宇土市、福岡県朝倉市、長野県東御市、阿蘇地域の計8地域が参加した。

【成果】合志市の参加者は71名(令和5年度:65名)全体では305名(令和5年度:152名)であった。共同開催地が増えることで、他自治体からも参加者が増加している。これに伴い、受講料が増え、収入の一助になっている。また、塾卒業後に起業、関連企業に就職する人もおり、これまで852名(うち合志市278名)の卒業生から4社立ち上がり、一般社団法人を設立した卒業生もいる。ほとんどの人はスキルを活かして勤務先や、趣味として活動している。さらには協働できる仲間を得て、プロジェクト毎に結び付き活動などを進めている人もいる。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

・地域おこし協力隊を任用し補助金を交付・総会の開催(5月)・クリエイター塾説明会の開催(7月)クリエイター塾(12コマ:8月から12月)を予定している。

③予算の主な増減の理由

会計年度任用職員の増員および昇給による報酬・期末勤勉手当の増

成果指標

ア 市民税特別徴収による納税者(年金天引き者を除く)

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	人	25,071	25,619	20,000	26,062	20,000	20,000	20,000	20,000
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	1,700	3,400	4,000	1,200			
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	9,468	8,040	7,884	15,764	9,661	9,661	9,661
(A) 事業費計	千円	11,168	11,440	11,884	16,964	9,661	9,661	9,661	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

10年間クリエイター育成を継続してきて、多くの市民クリエイターが誕生している。クリエイター塾の開催地域も年々増えており、全国規模となってきており、合志市の知名度向上に繋がっている。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)